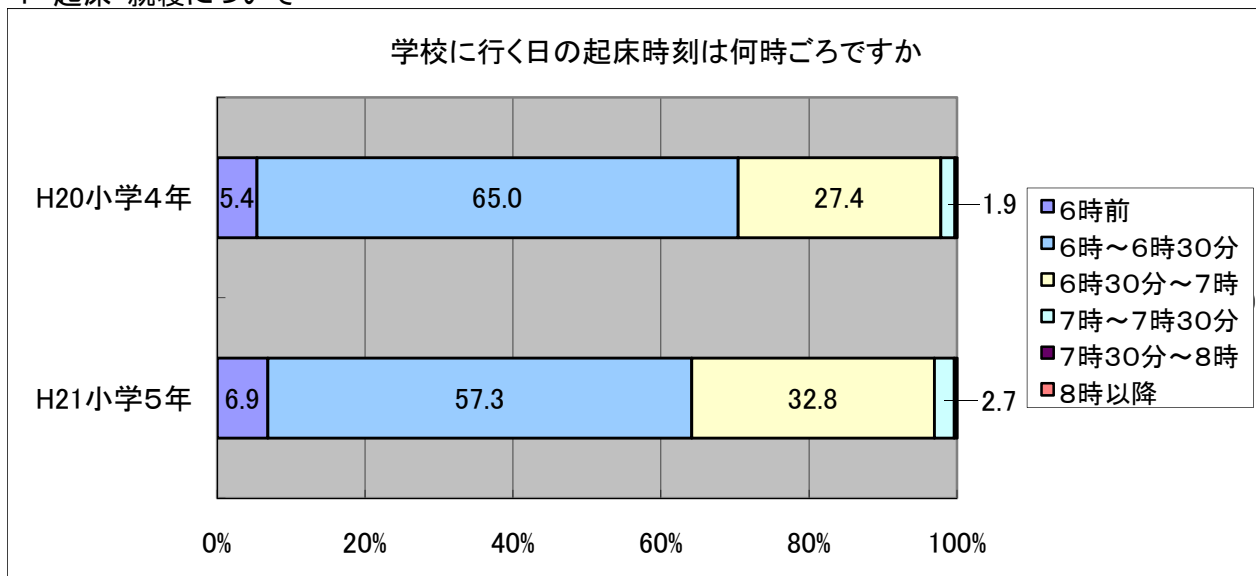
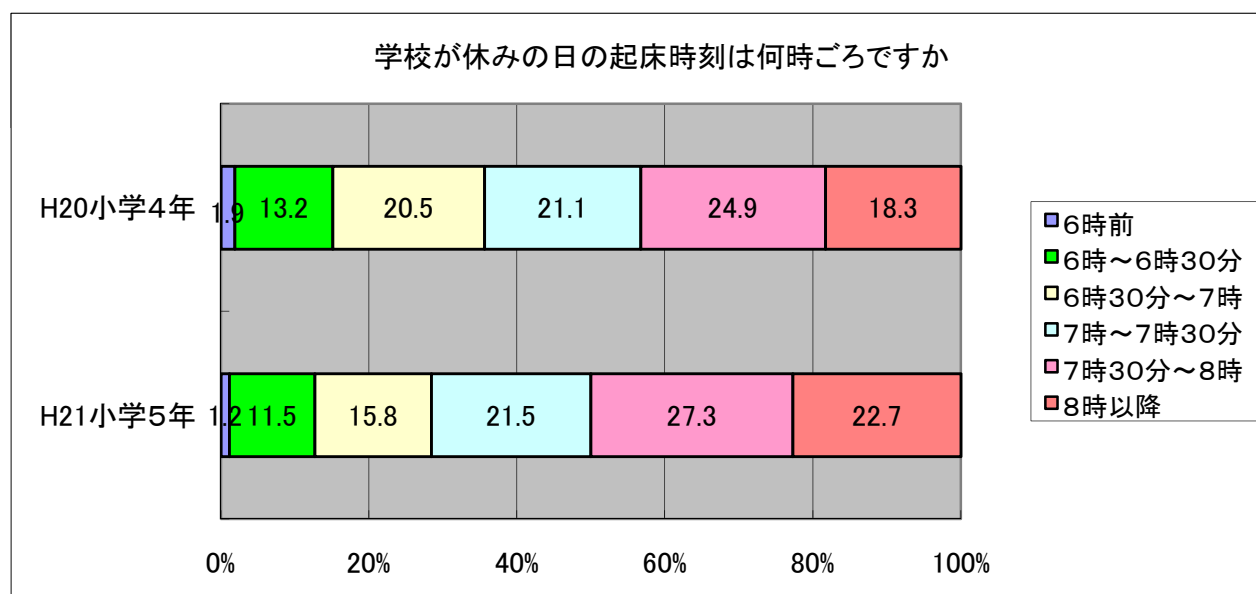


## H20小学4年生とH21小学5年生の調査結果の比較

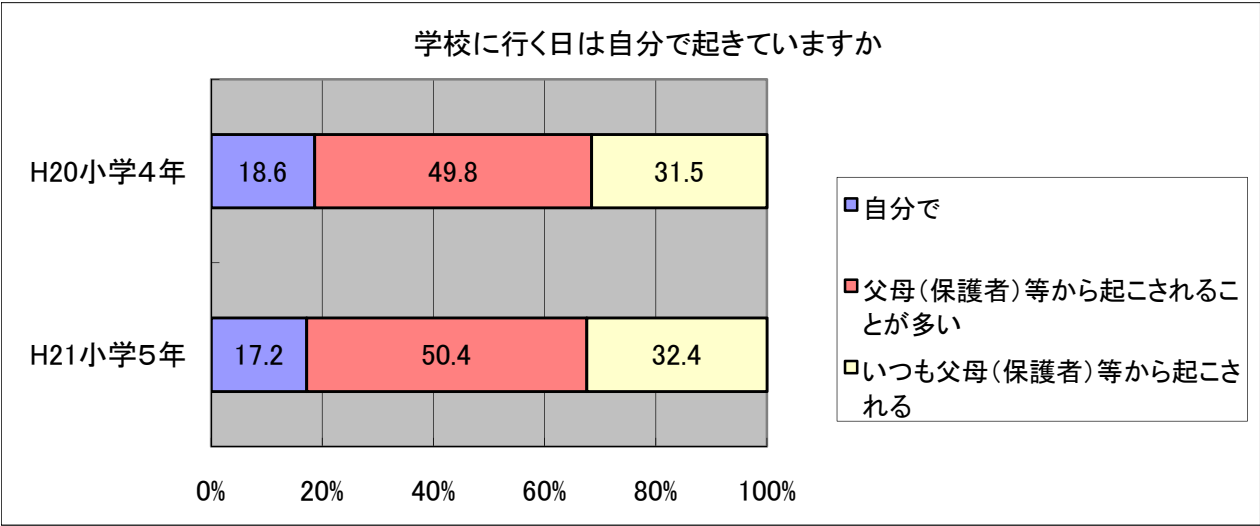
### 1 起床・就寝について



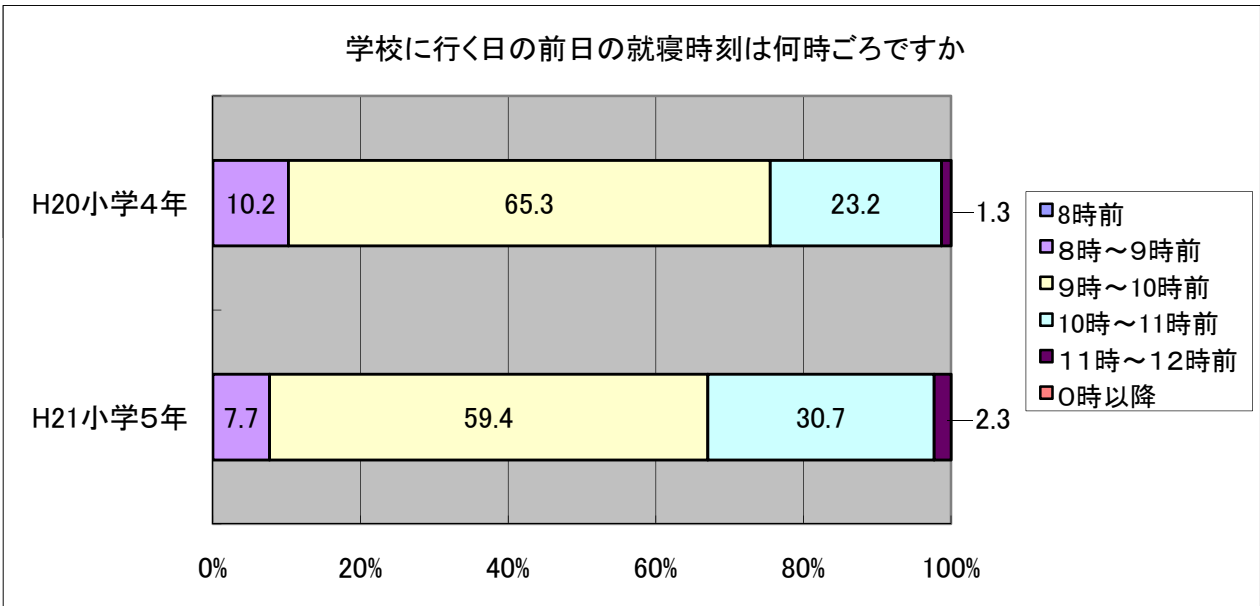
6時前に起床する児童が増えたが、6時から6時30分に起床する児童が約8%減っている。小学1年生と2年生との比較同様、調査時期による差と考えるが、7時以降に起床する児童が2.7%であることは、今後の課題である。



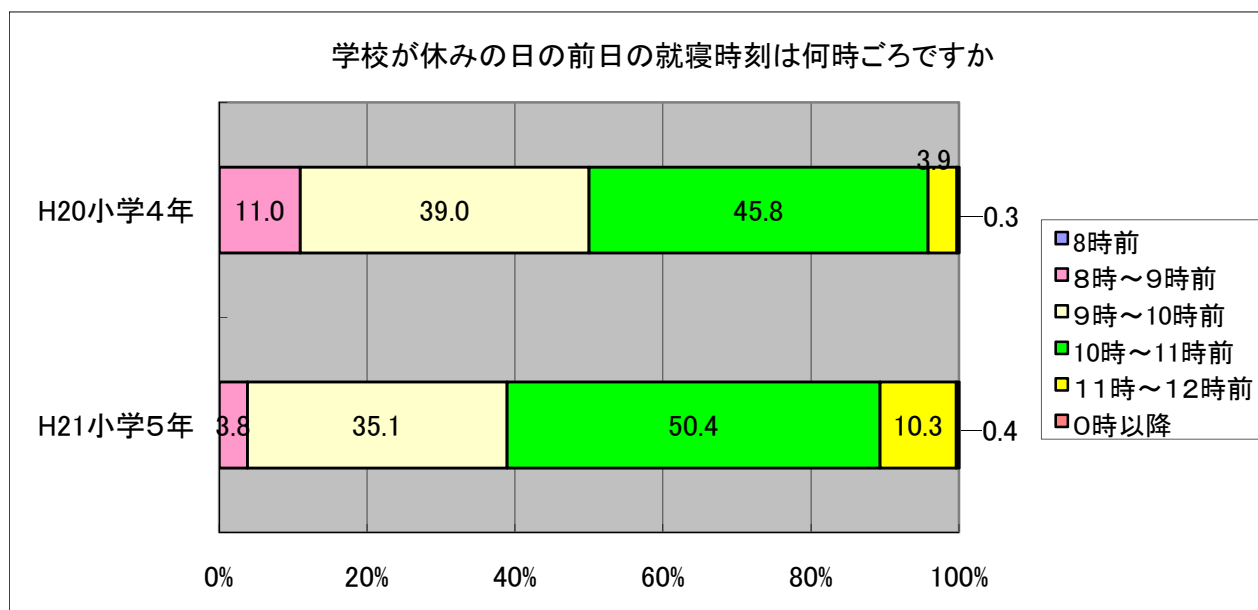
6時前から8時以降まで、起床時刻には差があり、生活スタイルの実態が異なることがわかる。



自分で起床できる児童がやや減ったが、ほぼ昨年と同様の結果となった。

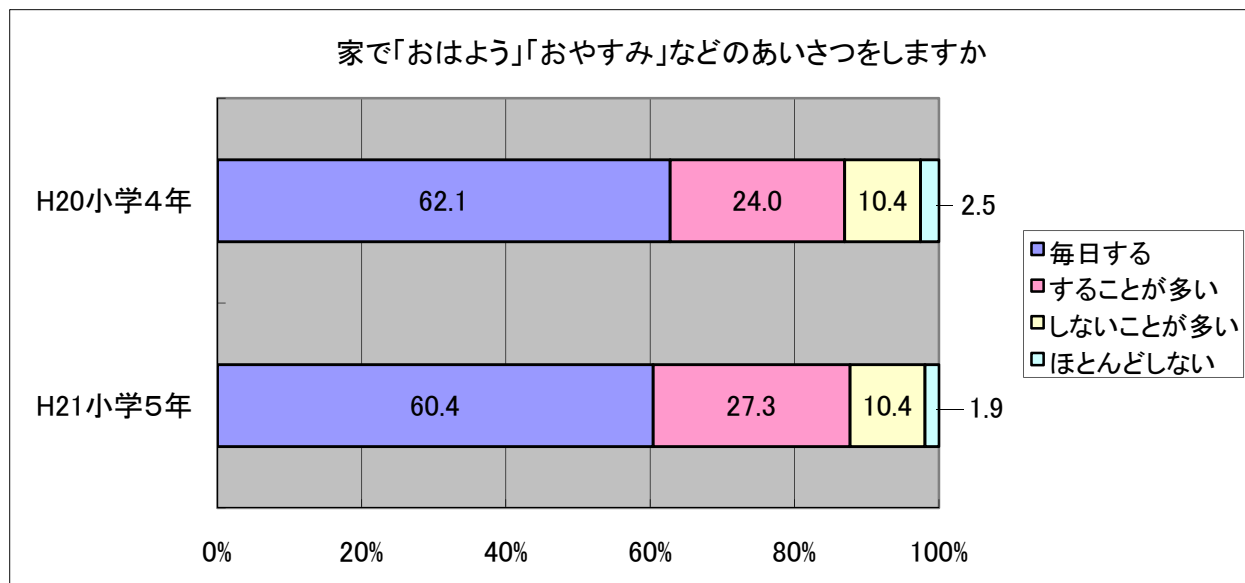


10時から11時までに就寝する児童が7.5%増加した。これは、発達段階によるものと考えるが、11時以降に就寝する児童が2.3%と増加したことは、今後の課題である。



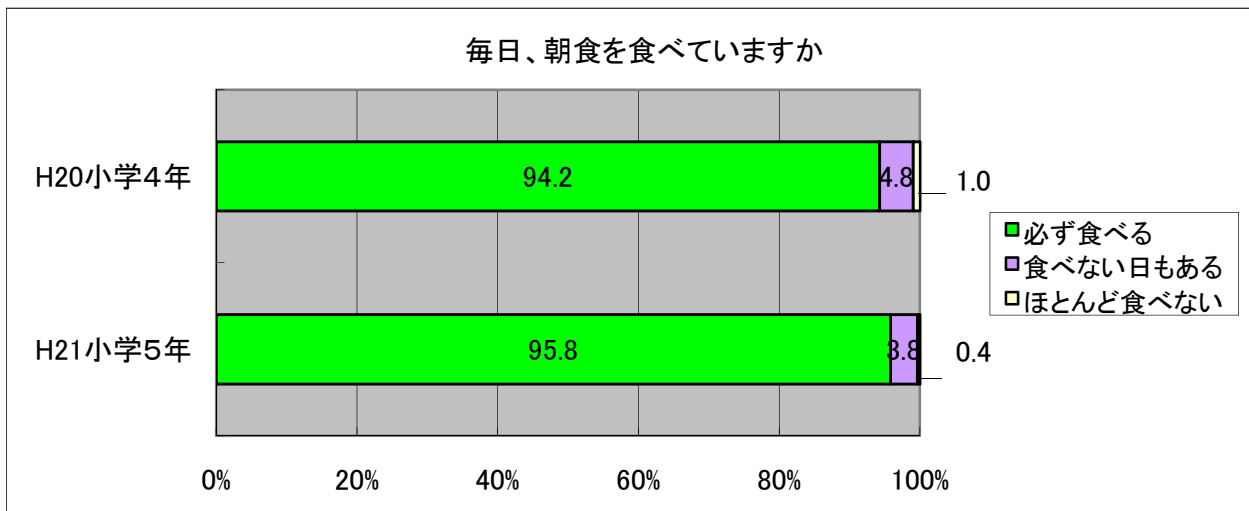
全体的に就寝時刻が遅くなっているが、発達段階によるものと考えるが、11時以降に就寝する児童が10.7%と増加したことは、検討課題である。

## 2 基本的な生活習慣について

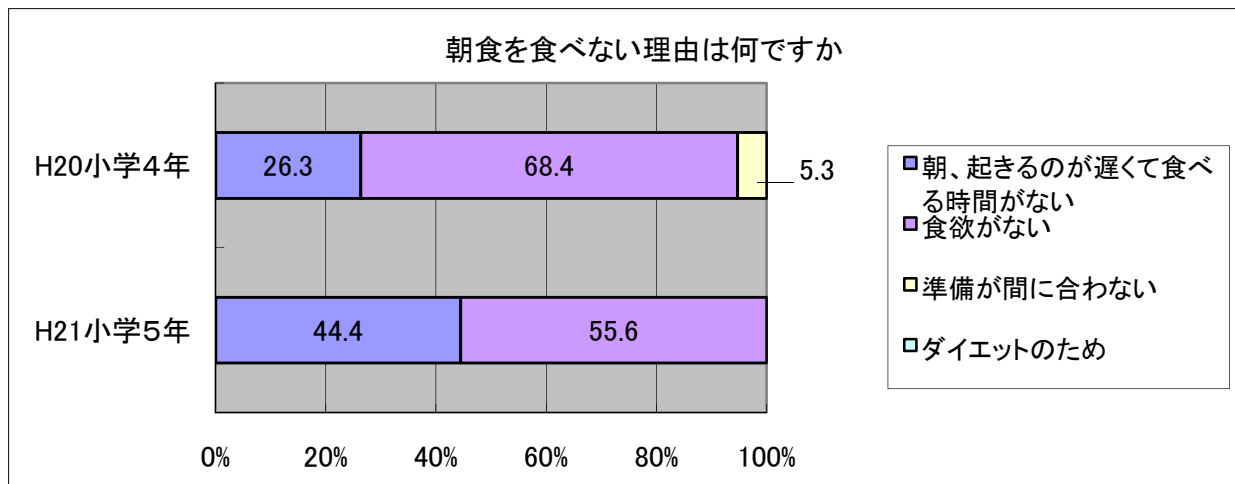


「毎日する」と「することが多い」とした児童合計はほぼ同率である。「しないことが多い」「ほとんどしない」が12%以上となったことは課題である。

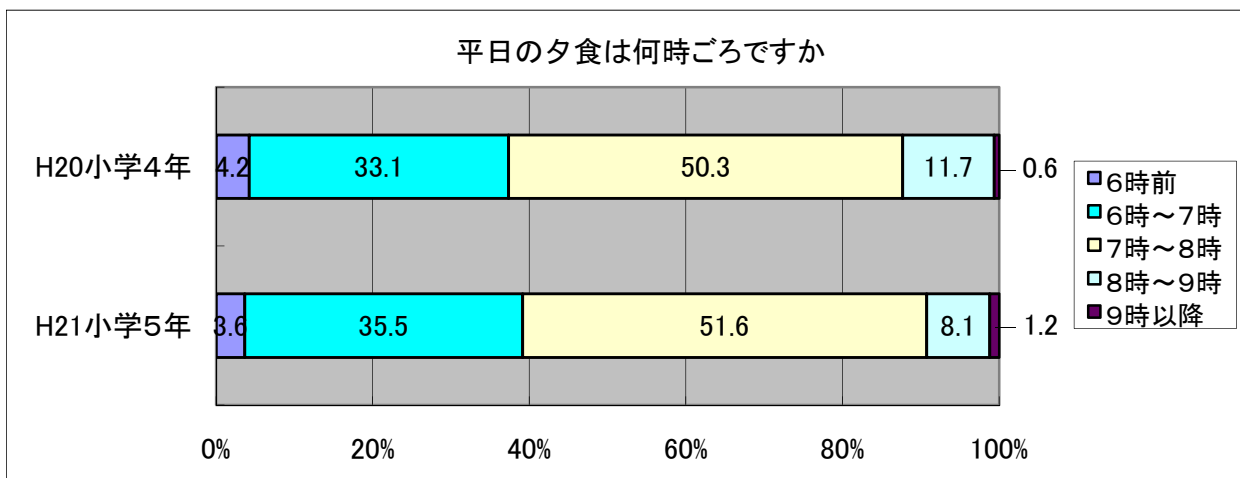
### 3 食育について



「必ず食べる」が1.6%増加し、95.8%となり、「ほとんど食べない」児童が0.4%となったことは、取組の成果であると考えます。



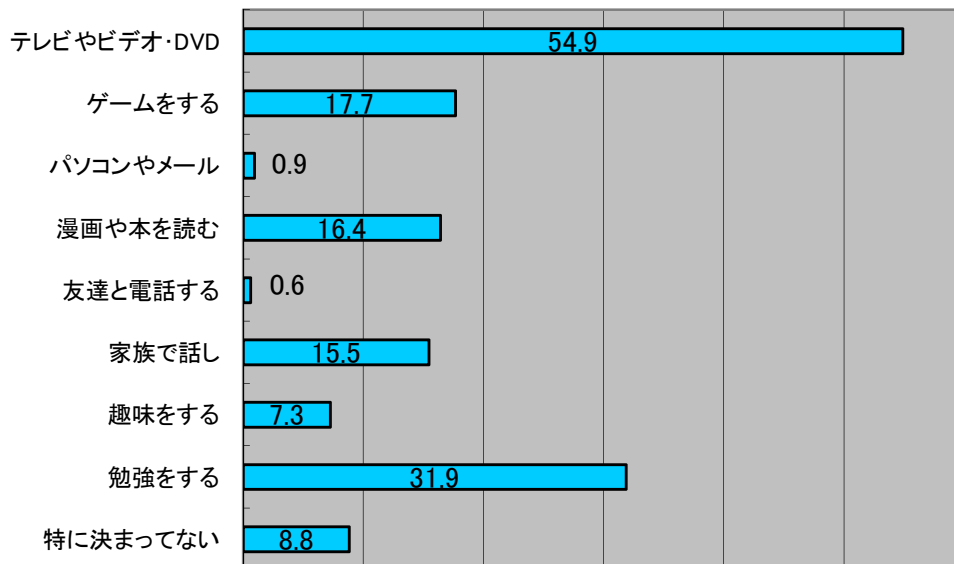
起床時刻が遅いために朝食を食べない児童が44.4%に増加した。



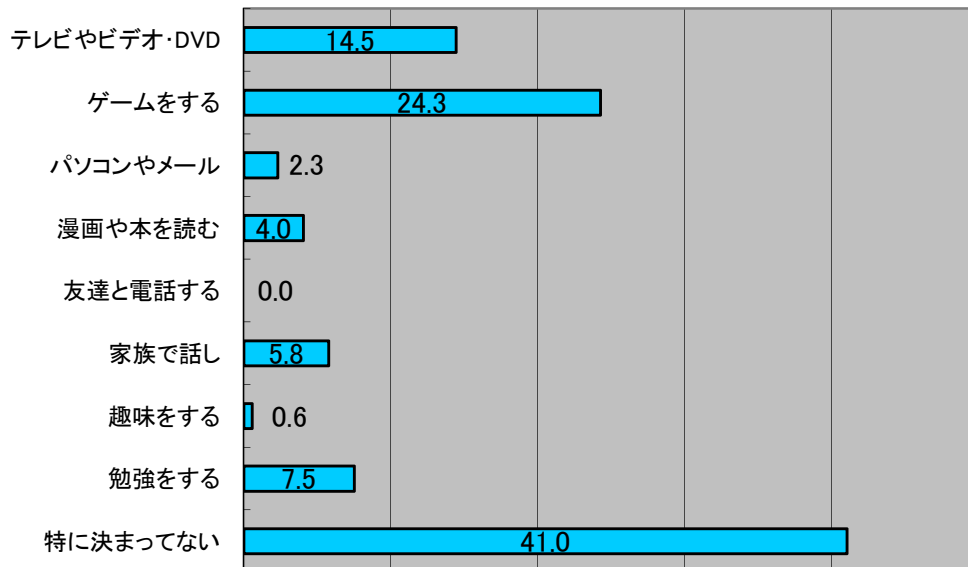
午後7時から8時がやや増加したが、H20とほぼ同率であった。8時から9時は3.6%減少した。

#### 4 生活について

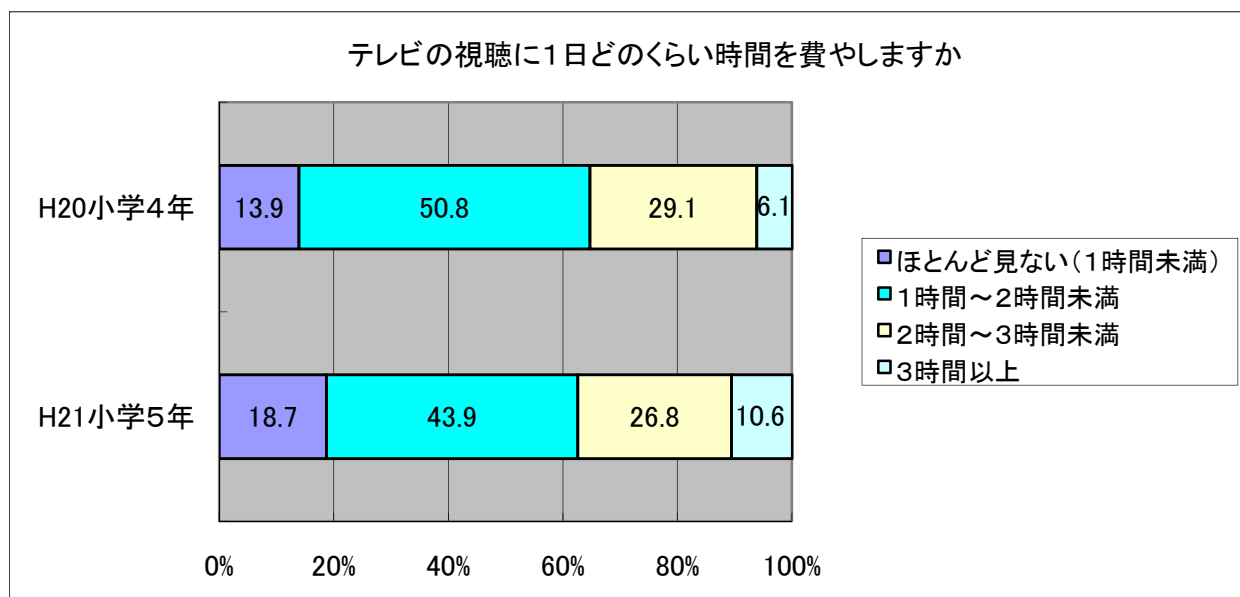
夕食後、何をしていることが多いですか H20小学4年(複数回答)



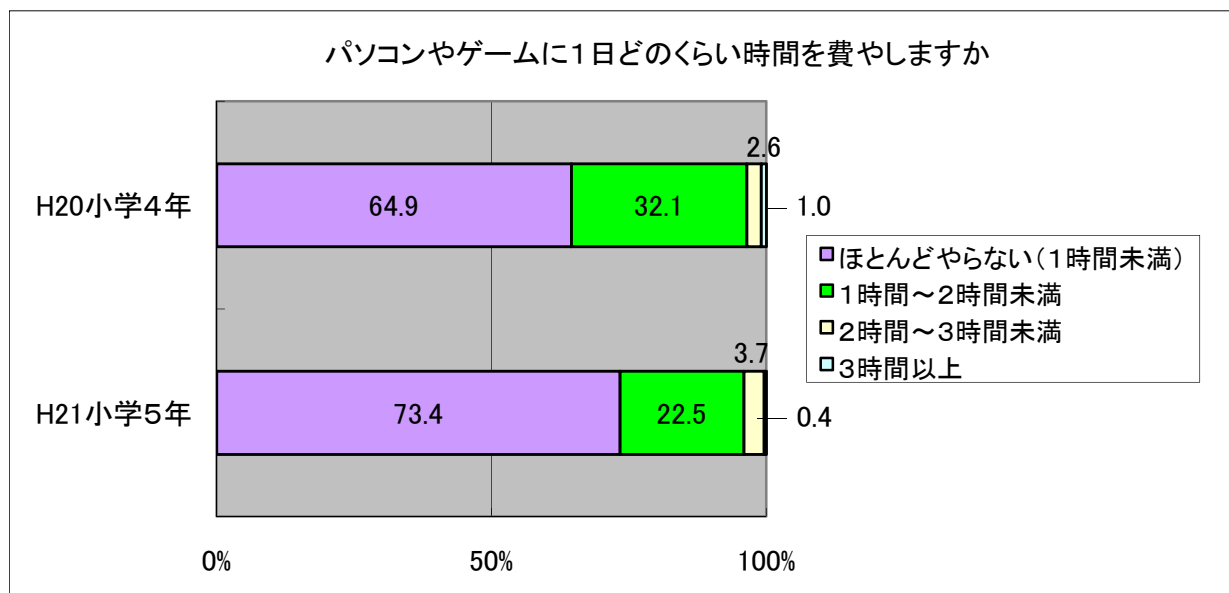
夕食後、何をしていることが多いですか H21小学5年(複数回答)



「テレビやビデオ・DVD、漫画」の割合が激減しており、家庭での取組の成果であると考え。  
「ゲーム」は増加した。



「ほとんど見ない」が増加したことは、ノーテレビデイの成果であると考えられる。  
 しかしながら、3時間以上視聴している児童も10.6%と増加しており、継続的な取組が必要である。



「ほとんどやらない」が8.5%増加したが、2時間以上している児童も4.1%に増加した。